

子どもの予防接種一覧

平成28年4月1日現在

< 定期接種の一覧 >

一般社団法人 草津栗東医師会

種類	接種・回数		望ましい接種期間・間隔	定期接種としての対象者	備考
ヒブ (Hib)	初回接種	3回	生後2か月～7か月になる1日前までの間に1回目を接種をし、1歳の誕生日の1日前までの間に、27日以上あけて(標準的には56日まで)3回を接種。	生後2か月～5歳になる1日前までの間にある者。	接種の開始時期、回数、間隔などがずれたときにも接種方法があります。かかりつけ医に相談してください。
	追加接種	1回	初回接種(3回目)後、7か月以上あけて(標準的には13か月まで)追加接種を接種する。		
小児用肺炎球菌	初回接種	3回	生後2か月～7か月になる1日前までの間に1回目を接種をし、2歳の誕生日の1日前までの間に(標準的には生後12か月までに)27日以上あけて3回を接種する。ただし、初回接種2回目の接種が生後12か月を越えた場合、初回接種3回目の接種は行わない。	生後2か月～5歳になる1日前までの間にある者。	接種の開始時期、回数、間隔などがずれたときにも接種方法があります。かかりつけ医に相談してください。
	追加接種	1回	初回接種(3回目)後、60日以上の間隔をあけ、かつ1歳の誕生日の1日前以降に追加接種をする。(標準的な接種は生後12か月から生後15か月)		
4種混合(DPT-IPV)	1期初回	3回	生後3か月～1歳になる1日前までに、20日以上(標準的には56日まで)あけて、3回を接種する。	生後3か月～7歳6か月になる1日前までの間にある者。	
	1期追加	1回	3回目接種後12～18か月の間に接種する。		
	2期	1回	DT混合ワクチンを用いて、11歳～12歳の小学6年生の間に接種する。		
BCG		1回	生後5か月～8か月になる1日前までの間に接種する。	1歳になる1日前までの間にある者。	
麻しん風しん混合(MR)	1期	1回	生後12月～24月になる1日前までの間に接種する。	左記に同じ	1歳になったらできるだけ早期に接種。
	2期	1回	5歳以上7歳未満の者で年長児(小学校就学前の1年間)の間に接種する。	左記に同じ	

子どもの予防接種一覧

平成28年4月1日現在

<定期接種の一覧>

一般社団法人 草津栗東医師会

種類	接種・回数		望ましい接種期間・間隔	定期接種としての対象者	備考
水痘	初回	1回	1歳～1歳3か月になる1日前の間に接種する。	1歳～3歳になる1日前までの間にある者。	初回接種後、3か月以上あけて追加接種はできません。
	追加	1回	初回接種から6か月～12か月になる1日前までの間に接種する。		
日本脳炎	1期初回	2回	3歳～4歳になる1日前の間に接種する。	生後6か月～7歳6か月になる1日前までの間にある者。	平成7年4月2日～平成19年4月1日の生まれの人は、20歳未満までの間に定期接種として接種がで
	1期追加	1回	4歳～5歳になる1日前の間に接種する。2回目接種後おおむね1年あける。		
	2期	1回	9歳～10歳の小学4年生の間に接種する。	9歳～13歳未満の者	
ヒトパピローマウイルス (子宮頸がん予防)			中学1年生の女性。サーバリックスまたはガーダシルのいずれかおなじもので3回とも接種する。	小学6年生～高校1年生相当の女性	現在は積極的な接種勧奨は控えています。希望者には接種できますが、かかりつけ医とよく相談してください。
	サーバリックス	3回	2回目は1回目から1か月以上、3回目は、1回目から5か月以上かつ2回目から2か月半あけて接種する。		
	ガーダシル	3回	2回目は1回目から1か月以上、3回目は、2回目から3か月以上あけて接種する。		